

教科ごとの出来合いの問いと答えを勉強する教育



すべての児童に「自由の相互承認」の態度を育むことを土台に、自由に生きるための力を育む教育
「主体的・対話的で深い学び」
知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等

自力解決や協働解決の素地が育っている
理由をつけて自分の考えを表現できる。

\*自由の相互承認
私たちが生きたいように生きるために、お互いに自由な存在であると認め合うこと

「主体的な学び」とは
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次へつなげる学び
～まずは、目的意識・課題意識を高める～

「対話的な学び」とは
子ども同士の協働、教職員や地域の人の対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び
～まずは、自分の考えを言える機会を～

「深い学び」とは
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをともに創造したりすることに向かう学び
～まずは、〇〇と〇〇を関係づけたり、対比させて考えたりすることを認める～

Table with columns for subjects (国語, 算数, 生活, 音楽, 図画工作, 体育, 特別道徳, 学級活動, 特別活動) and rows for months (4月 to 3月). Includes learning objectives, activities, and assessment points.